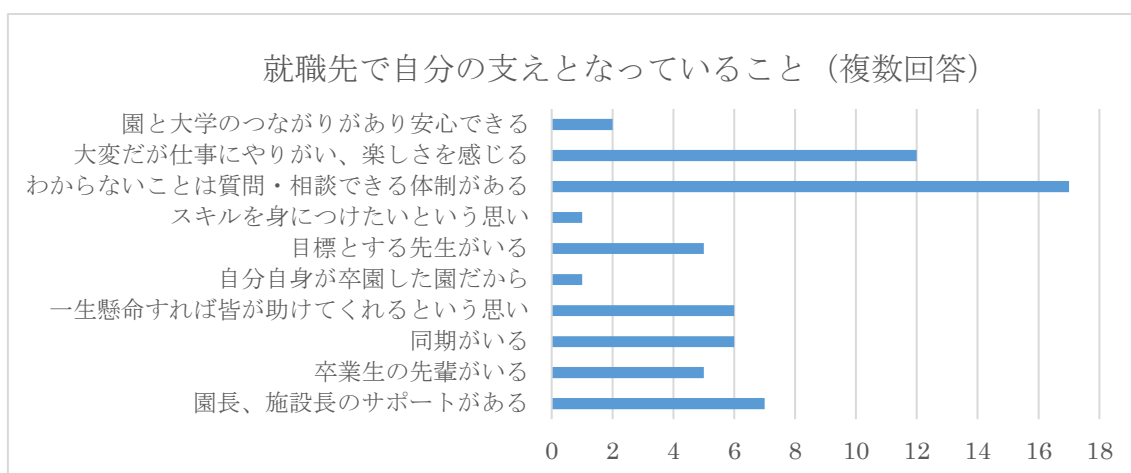


## 卒業生に関する就業状況調査

- ・対象：2021年3月卒業生及び同就職先の過去の卒業生
- ・目的：卒業後初年度の定着状況を調査し、支援を行うため
- ・方法：就職先を訪問し、卒業生にヒアリングを行う。  
卒業生への質問項目は「現在職場で頑張れている理由」

訪問件数 31 卒業生ヒアリング人数 35



## 分析

- ・「わからないことは質問・相談できる体制がある」の回答数が最も多いことから、新任時の不安の解消や力量不足のカバーを組織的に行うことの重要性がわかる。調査の目的である「卒業後初年度の定着状況を調査し、支援を行うため」ということを考えると、就職先のような「職場環境」の情報をどう掴み、どう学生に伝えるか、あるいは学生が職場訪問や説明会等でどのように確認するのかについて、就職支援時に学生に積極的に伝えていきたい点である。
- ・「大変だが仕事にやりがい、楽しさを感じる」ということが、保育者としてのモチベーションに直結していることがわかる。卒業後の定着率の向上のみならず、大学がこのようなことを学生に実感させることができれば、学生の進路変更や退学の減少にもつなげられる。「保育者としての仕事のやりがいや楽しさ」とはどういうものなのか。また、どのような方法（いつ、どのように行うか）であれば実感させられるのか、大学全体、学科等で議論する必要がある。
- ・「一生懸命にすれば皆が助けてくれると思えること」その思いが卒業生の日常を支えているとすれば、短期間のうちに仕事や人と誠実に向き合うことの大切さを学んでいると言える。